

# けんたい

第43号

発行／東京医科歯科大学 献体の会

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 03-5803-5147

国立大学法人 東京医科歯科大学医学部解剖学教室内



Ochanomizu Crossing

撮影 Wachirawit Sirirat

## 目次

ご挨拶 東京医科歯科大学医学部長 北川 昌伸

東京医科歯科大学歯学部附属病院長 若林 則幸

### 《特別講演》

「本気の認知症予防」

東京医科歯科大学脳統合機能研究センター 筑波大学名誉教授  
メモリークリニックお茶の水院長 東京医科歯科大学医学部卒業 朝田 隆

### 《東京医科歯科大学関係行事》

解剖体御遺骨返還式及び感謝状贈呈式

挨拶 東京医科歯科大学学長 吉澤 靖之

挨拶 献体の会会長 佐藤 達夫

感謝の言葉 学生代表 杉村日向子

東京医科歯科大学納骨堂 開眼法要

ならびに第四十二回東京医科歯科大学献体の会総会

平成二十九年年度解剖体追悼式

追悼の辞 東京医科歯科大学学長 吉澤 靖之

追悼の辞 東京医科歯科大学歯学部同窓会会長 浅野 正樹

### 《篤志解剖全国連合会関係行事》

第四十一回篤志解剖全国連合会団体部会・大学部会合同研修会

第四十七回篤志解剖全国連合会総会

### 《佐藤達夫献体の会会長が「秋の叙勲」受章》

### 《会員寄稿》

#### 【随筆】

遺骨返還式に参加して、体験と感動話

健体を献体、「夢」を仕込み熟成中

流転八十年

病気になるって考えたこと

私が献体登録した理由、鍼灸師の立場から

へじ談議

ある高齢者の生きがい

#### 【詩】

#### 【短歌】

#### 【俳句】

#### 【川柳】

#### 【コラム】

プリンセチアの花言葉「思いやり」

《東京医科歯科大学献体の会会則》

《東京医科歯科大学献体の会役員》

《東京医科歯科大学からのお知らせ》

《会員のご家族へのお祝い》

《会報作成にあたって》

## 《ご挨拶》



東京医科歯科大学

医学部長

北川 昌伸

平成二十九年一月より東京医科歯科大学医学部長を拝命いたしました北川昌伸でございます。

献体の会の会員の皆様には、平素より東京医科歯科大学の教育・研究に対し、深遠なるご理解と多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

私は平成十七年より医学部包括病理学分野を担当しております。学部での教育・研究に携わるとともに医学部附属病院においては病理部という部署で患者さんの生検・手術材料の診断や病理解剖を行っております。病理学という学問は「病氣・病態を理解する」学問であり、病理解剖では、担当の医療チームが現代医学の叡智を集結して手を尽くしたにもかかわらず、功を奏さず、帰らぬ人となったご遺体を解剖させていただき、病巣や臓器の精査を行うとともに治療結果から知りうる新しい知見を解析して、他の患者さんの治療あるいは発症予防に役立てることを目指して勉強させていただきます。

病理解剖にもつながりのある解剖体追悼式やご遺骨返還式には毎年出席させていただいております。その際には献体の会の皆様、献体をされた方々の崇高なるご遺志、そしてご親族の皆様の深いご理解とご厚情に接することができ、学問の発展とそれを支えて下さる方々の心情との結びつきに大いなる感銘を受け、深甚なる感謝の気持ちで満たされております。このような心を持つことは、学問に精進すると同時に、

良き医療人を育成することへの社会からの期待と教育の場の責任を改めて強く感じることに通じ、日々の修練にも気概を持って臨ませていただいている次第です。

本学の教育理念は「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」です。これを具現化するため、本学の教育現場では、人類の健康・福祉の増進を通じて平和な社会の実現を志し、人々の幸福に貢献する人材を養成することを目標としております。本学に入学した学生は、一年次に教養部において幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材となるべく準備を開始いたします。そして入学約一年後に医学・歯学の勉強を始めてすぐに経験するのが人体解剖学実習です。医療人としてのキャリア形成の入口に立つ学生たちに対していかなる教育を提供していくかということは、わが国の将来の医療に大きな影響を及ぼすことになります。非常に重要なものです。多くの学生たちはこの実習に先立ち初めて「献体」について知ることになるわけですが、「自分の死後、遺体を医学・歯学の教育と研究のために役立てたい」というお考えを持った方々がいることを知り、今まで身近に感じたことの少なかつた「生と死」について深く考えることとなります。「死」というものに直面してそれをどのようにとらえ、考えるのか。このようなことを教育現場で非常に強く語りかけてくれるご遺体を通じた解剖学実習は、献体の会の皆様方のように生あるうちに自らの死を客観的に受け入れて、医学・歯学の教育のために自らの身体を捧げられた尊いお志を受け止める心として間違いなく学生自身の中に一生残っていくものとなることと考えられます。将来、彼らが医療人となり、人々の健康や生命を守り抜くことの困難さに直面した際に、それを乗り越える勇氣を与えてくれるのが、解剖実習を通じて献体された方々から授かった心であり、その心を大切にすることで医療人としての道を歩み続けていけるのだと思います。我々が実践すべき教育の現場では、こうした尊いご遺志に対

して心より敬意を表しつつ、医学・歯学のさらなる発展のためにこれまでにも増して精進していくことがご献体をいただいた方々とご遺族の皆様のご厚情に報いることに通ずると信じております。

人体解剖学実習では、人体の構造の精緻さ、複雑さ、不思議さを学ぶとともに、お一人お一人の身体の高多様に触れることとなります。教科書に書いてある通りのこれまで経験してきた実習と異なり、「自ら解決する」ことでしか理解できない課題に日々出会うこととなります。このように、それぞれのご遺体はそれぞれのお立場で医学・歯学の進歩に寄与するだけでなく、人間教育の上でも何ものにも代えがたいご教示をいただき、学生に多くのことを教え導いて下さいます。また、人体解剖学実習では数人の学生がグループとなって学習・実習を進めていきます。個人的に努力をすればよかったこれまでの学習と異なり、一つの目的のために一人一人の個人が責任をもって役割を果たすことが求められます。これは実習を重ねるうちに、チーム医療や社会への対応・貢献といった視野を開いていくことに役立ちます。献体をされた方々のご遺志に導かれて、学生たちは医療人として活躍できるよう羽ばたき始めるのです。

最後になりましたが、献体の会の会員の皆様方には、東京医科歯科大学の教育・研究に深いご理解とご協力を賜りますとともに、益々ご健康に留意されますようお願い申し上げます。皆様方の末永いご多幸をお祈り申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

### 《ご挨拶》



東京医科歯科大学

歯学部附属病院長

若林 則幸

平成二十九年四月より歯学部附属病院長を拝命しました若林と申します。

献体の会の会員の皆様には、国民の健康を支えることを志す若者にとって、なくてはならない貴重な研鑽の機会をお与え下さることに対し、心より御礼申し上げます。

本学の医学科、歯学科の学生は、入学後一年間の教養課程を修了した後、それぞれの専門課程に進学しますが、両学科ともに専門課程で最初に学ぶのが人体解剖学です。この学習の流れと学問の内容は昔からあまり変わりがありませんが、教養課程の期間は以前まで二年間であったのが、現在では一年間に変更になっています。これは、数年前に両学科のカリキュラムが改変され、新しい「医歯学融合カリキュラム」となったことに伴う変化です。新しいカリキュラムは、教養課程を一年間に圧縮することに伴って、できるだけ早期に専門の臨床科目の学習を開始し、残りの五年間で今日の高度化した専門的な医学と歯学を最大限に吸収し、実際の患者さんに接する臨床実習の機会もこれまでも増して多くすることで、人々に貢献できる医師、歯科医師を育てようとするものです。

多くが二十歳前の若者である低学年の学生にとって、解剖実習室に安置されているご遺体と向き合い、教育の自らの身体を捧げようという献体者の方々を目の前にしたときの感激は、一生忘れられないもの

となります。私自身も三十数年前に経験した解剖実習のことは、いまでも鮮明に記憶しているところです。そのときは、人体の各部の神経や血管、筋や骨の構造を理解しなければならぬ一方で、実際には知ることのできないご遺体の生前の姿勢やお人柄などを想像し、そのことと頭の中が一杯になってしまったことを思い出します。前述のように、解剖実習を行う時期は数年前から一年早まりましたので、医療人としての人格形成において途上である若者にとつては、これまでも増して大きな衝撃と、真の意味で医学、歯学の道へ歩み出したことに対する実感を与えることでしよう。解剖実習を通して、人体のしくみと働きを学習するだけでなく、人間の尊厳と生命に対する強い畏敬の念を抱くようになり、医療人として備えるべき謙虚さを身に付けることとなります。

一方、現代の医学が総力をあげても功を奏さず亡くなられたご遺体は、病理解剖として専門のチームが担当させていただきます。医学の進歩は、以前助からなかった病気の患者さんが助かるようになることで、最も身近に感じられますが、このような学問の進化は、ご遺体の臓器、病巣を研究の対象とさせていただいたことによる、貴重な知見を基に成し得たことです。病気を予防したり、新しい治療法を開発することも、その知見の積み重ねの上にあることは言うまでもありません。先人による未来の人々への貢献として、これほど確固としたものは他になく、医療人と研究者への故人からのメッセージとして、これほど明確なものを他に知りません。

歯学部附属病院は歯科の病院・診療所のなかで全国で最も多い毎日約一、八〇〇人の外来患者さんが来院され、口腔（こうくう）領域の腫瘍や外傷、遺伝性疾患などの患者さんが多く入院して治療を受けられます。本院の特徴の一つは、全国でも屈指の医学部である本学医学部と医学部附属病院と同じ敷地内にあり、多くの連携機能を持つことです。両病院のスタッフの多くは学生時代から同じ教育を受けた仲間であ

あるため、強い連携を行える土壌があります。解剖実習を共にした医学科と歯科学科の学生が、その後医師と歯科医師になり、最新の医学を一人の患者さんに実施できることは本院の強みであり、誇りでもあります。また、本院で行われる歯科医療は、世界的に高い評価を受ける本学歯学部の先進的な研究と教育とも密接に結びついています。この関係は、歯学部が附属病院を通してその成果を社会に還元すると同時に、患者さんからのご意見に基づいて歯科医療の質を高めてきたという、これまでの実績からも明らかです。そのような意味で、本病院の将来は、今日来院されている患者さん一人ひとりと共に作り上げていくものであり、私たちは常に患者さん方と共にあると考えています。

本院は今後数年間にわたり、病院の再整備に伴う診療科の再編成を行います。大病院としての使命を達成するために、将来の歯科疾患構造の変化にも対応できるよう、診療環境の整備と体制の確立に努めてまいります。献体の会の会員の皆様方、およびそのご家族の方にも、安心してご利用いただけるよう、歯科医療の質の向上に努めてまいります。最後になりましたが、献体の会の会員の皆様方には、本学の教育と研究にこれまでも増して深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方とご家族の益々の末永いご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

《特別講演》

「本気の認知症予防」



東京医科大学 脳統合機能研究センター  
メモリークリニックお茶の水院長  
筑波大学名誉教授  
東京医科歯科大学医学部卒業

朝田 隆

平成二十四年度の調査報告で、認知症患者数は四六二万人、その予備軍である軽度認知障害（MCI）は四百万人だとされます。そして平成二十九年現在では患者さんと予備軍を合わせると千万人以上、六十五歳以上高齢者の三十パーセントにもなると考えられます。

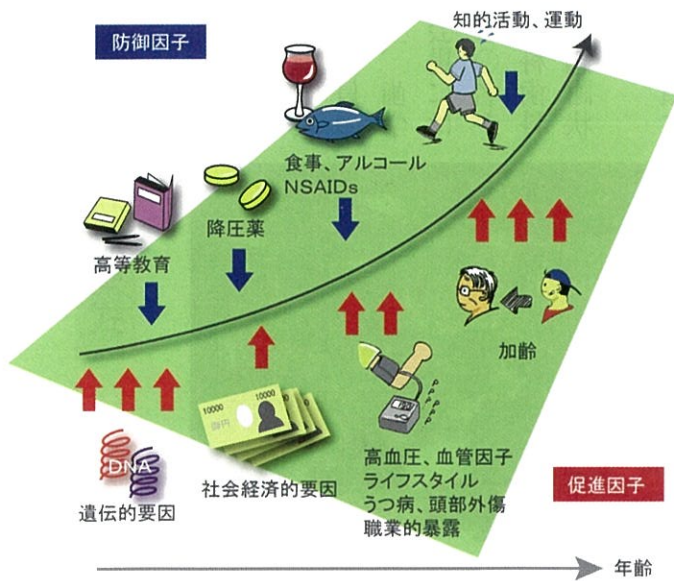
この報告を仔細に見ると、認知症の人の八割弱は八十歳以上です。最近強調されるように運動習慣や生活習慣の改善などがその予防に有効なのは、八十歳以上の認知症だということです。逆に、より若年層の認知症は遺伝など生得的な要因がより大きいのです。さて最近注目される予備軍MCIの人は認知症患者の数に匹敵するほど多い上に、その半分が四年で認知症に進行するとされます。けれどもその一方で進行を抑制する要因も明らかになります。このようなデータが示すように、今後は認知症予防が喫緊の課題になることは言うまでもありません。

さて意外に知られていませんが、予防には三段階あります。アルツハイマー病（AD）で言えば、一次とはその根本原因とされるアミロイドを脳に沈着させないことです。二次は早期発見に基づく対応。そして三次は増悪させないための試み、つまり普通に言う治療です。さて現時点ではアルツハイマー病に一次予防は無理なので二次予防とい

うこととなります。

アルツハイマー病に対する二次予防では非薬物療法が注目されています。例えば運動習慣、知的活動、それに生活習慣病対策、抗酸化物質を中心とする食品などがあります。従来、アルツハイマー病の危険因子とされてきた代表的なものを図にまとめてみました。これらを三分類すると、遺伝や加齢といった制御不可能なもの、医学レベルのもの、そしてライフスタイル関連要因に分けられます。図中の上向き矢印は危険因子、下向き矢印は防御因子とされるものであり、また矢印の数は影響の強さを意味します。

まず一押しとされる運動を簡単に紹介します。多くの人は、運動は認知症予備軍（MCI）や認知症に効果的か？という問いをもたれることでしょうか。これについて二十二のしっかりした報告をまとめてみました。結果としてMCIについては運動介入が幾分か効果的だったという報告が少なくありません。概して認知機能一般、段取りなどの遂行機能、注意が改善します。注目すべきは、それは認知症で傷害されやすい記憶機能である遅延再生も改善するとされます。これに対して、全ての報告が認知症についてはほぼ効果がなかったとしています。



次に記憶を代表とする認知機能研究の近年の進歩により、新たな訓練手法が開発されつつある。それは認知機能のゲーム(認トレ)です。最近では、コンピュータによるものが主流で、訓練する個人の成績に応じて難易度シフトしてゆく方式になります。こうした認トレの効果は次のように要約されています。訓練した領域においては改善が得られますが、比較的類似した認知領域までの効果は定かではありません。そして明らかに種類の異なる認知領域そして日常的な知的機能に対する効果はなさそうです。

また生活習慣病にうまく付き合えば認知症が減ると期待されています。これに関してイギリスでは二〇〇七年に認知症予防戦略として、生活習慣病の代表である心血管病の治療が、認知症の治療にもなるという標語が作られました。そして高血圧の管理や禁煙が推進されたところ認知症が減ったそうです。オランダ、アメリカでも認知症が減少傾向にあると報告されている。これらすべてに共通するのは、生活習慣病の管理が進んだことです。つまり生活習慣病対策に取り組めば、認知症は予防できるという希望のもてる成果が示されているのです。

まとめに代えてアメリカの国立健康保健部門が提唱している認知症予防の八か条を紹介します。

- ・二型糖尿病のコントロール
- ・高血圧と高脂血症の改善
- ・望ましい体重の維持
- ・社会交流と知的な活動
- ・運動の習慣
- ・果実と野菜の多い健康的な食生活
- ・禁煙
- ・うつ病のコントロール

### 《東京医科歯科大学関係行事》

## 解剖体御遺骨返還式及び感謝状贈呈式

平成二十九年二月十日(金)午後二時より、東京医科歯科大学M&Dタワー二階の鈴木章夫記念講堂に於いて、大学からは役員、教職員の二〇名、医学部医学科二年生、歯学部歯学科二年生が出席し、会場にはご遺族などを合わせて約四〇〇名が参列して、第三十三回東京医科歯科大学解剖体御遺骨返還式及び感謝状贈呈式が執り行われました。

開会の辞に続いて、参列者全員により、一一七柱の御霊に黙祷を捧げました。続いて吉澤靖之学長の挨拶がありました。

その後、ご遺骨の返還が行われ、祭壇より手渡されたご遺骨が、解剖学教授、准教授、学生によりご遺族一人一人に返還されました。

次いで、学生代表の歯学部歯学科二年生 杉浦日向子から感謝の言葉が述べられました。

続いて、佐藤達夫献体の会会長の挨拶(兵頭副会長が代読)がありました。

次いで、文部科学大臣感謝状贈呈式が行われ、七四柱のご遺族の方々お一人一人に感謝状が手渡しされました。

終わりに、解剖学教室を代表して星治教授からご遺族の方々に挨拶があり、御遺骨返還式及び感謝状贈呈式は滞りなく終了しました。



ご遺骨の返還

### ご挨拶

東京医科歯科大学

学長 吉澤 靖之

本日は、本学のより良き医療人育成の為にご献体くださいました方々のご遺骨返還式を執り行うにあたり、大学を代表して御礼を申し上げますと思います。まずご遺族の皆様には、お忙しい中お越し頂き心より感謝申し上げます。

さて、今日の医学・歯学の進歩は目覚しく、様々な領域で新しい知見が集積し、その上テクノロジーの進歩と相俟って新しい医療技術が開発され、人々の健康と社会の福祉に大きく寄与してまいりました。しかし一方では、生命そのものに携わる医療人には、今まで以上に社会的責任や医療倫理が問われております。

医学生・歯学生在が専門課程に進み、ヒトのからだに直接接する最初の経験が人体解剖学実習であります。ご遺体を通して人体の構造や機能の基礎を学びつつ、生命とは何かに思いを馳せ、その神秘性と尊厳に触れることとなります。まず学生は戸惑い、畏れを感じるようになりますが、やがて奇跡とも思えるその精緻な人体の構造を知るにつれ、これまで経験したこともない生命に畏敬の念を抱くこととなります。同時に、死後に自らの御身体を医学・歯学の発展のためにささげるといふ献体という行為が如何に崇高なものであるかを感じ理解することとなります。そして、そのことから感謝しつつ、医療人としての教養と感性を研ぎ澄ましていきます。医学の進歩とともに、医の倫理・生命倫理が強く叫ばれておりますが、解剖学実習に献じられたご遺体は無言のうちに「医の倫理とは何たるか」を学生に語りかけて下さっているのです。

人生の最後に当り、本人の献体という崇高なご遺志を尊重し、今日

までご遺体を私どもに委ねて下さいましたご遺族の皆様のご寛大さと寛容に深く感謝の念と敬意を捧げる次第であります。私ども医学・歯学教育に携わるものならばに学生たちは、皆様のこの尊いお気持ちと本日さらに深く胸に刻み込んでまいります。ここに、医学・歯学の教育・研究・臨床の発展のために一層の精進を重ねることをお誓いするとともに、ご献体下さいました方々のご冥福をお祈りしつつ、深甚なる感謝を込めて私の挨拶とさせていただきます。



文部科学大臣感謝状贈呈式



吉澤靖之学長によるご挨拶

## ご挨拶

東京医科歯科大学献体の会会長

佐藤 達夫

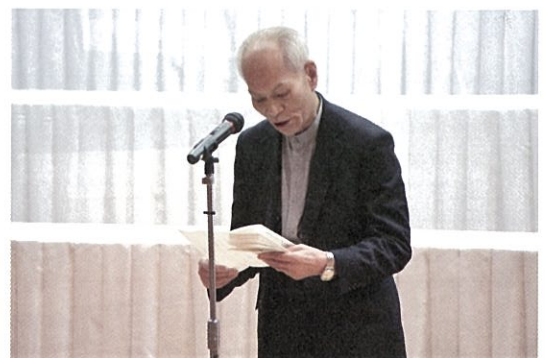
皆様、本日はお忙しいところ、また寒さ厳しい中をご足労いただきまして、まことに有難うございます。ご献体くださいました方々のご遺骨が、最愛のご遺族の皆様のもとに無事ご返還されました。我々も少し安心しているところであります。ご遺骨をお返しするまでにかなり長い時間がかかることが献体の特徴の一つであることはご承知とは存じますが、本日までなにかと落ち着かない不安な日々をお過ごしであつたかのご推察申し上げます。

さて、医学の発展は目覚ましいものがあり、多くの人命が救われてまいりました。その近代医学は、人体の構造と機能を正しく、詳しく理解しようとすることから始まりました。医学生・歯学生の専門教育も解剖学の学習から始まるのも当然と言えます。しかし常に最初に行われる解剖学には他の科目にはない大きな特徴があります。実習で学ばせて頂くのが、ほかならぬ我々の先輩のご遺体そのものだという点です。そのご遺体は、未来の人々がよりよい医療が受けられるようにと自分の体を捧げよう方々から提供されます。これが献体です。解剖学実習は、献体をなさろうという方々の強い遺志と、ご遺族の支援助と、社会の理解と、そして行政の援助があつて、はじめて可能となるのです。

近代医学はたしかに目覚ましい成果を挙げてきました。しかし人間の身体も心も我々の想像をはるかに超えて複雑であり、強力な近代医学も万能ではないことは我々がよく知るところであります。したがって、医師・歯科医師に育つ者としては、科学的思考に加えて、病人への共感と思ひやり、つまり人間としてのまなざしを保有し、複眼的視

野を持つことが要求されます。行い(おこない)としての献体は、ご遺体が大学に移送され、防腐処置を受けて保存され、解剖学実習後は火葬され、最後に本日のようにご遺骨がお返しされるというように、眼に見える一続きの行為であります。しかし献体された方のお気持ち、心情は眼には見えません。学生には、「眼に見える献体という行為」の背景に「眼には見えない献体者の心情」を読み取り、献体者の願いを生きている自分が代行することが求められているのです。

さきほど先生方からご遺骨が返還されましたが、威儀をただして介添えをした学生諸君の眼の輝きを見れば、彼らが、献体なされた方々の優しいお気持ちを真剣に受け止めてくれていることが、お分かりいただけるかと存じます。献体による解剖学実習の経験は、学生の人生にとって、小さなルネッサンスでありましょう。これから医療の実践に羽ばたく学生達には、知識の獲得という枠を越えて心の膨らみが与えられたと信じます。献体された皆様は、真の良医育成という大きなお仕事をなされました。心から敬意を表します。そして、最愛の肉親を失った悲しみの中で、故人の尊いご遺志を尊重して献体を実行し、本日までご遺骨の返還をお待ちくださいましたご遺族の皆様は心から御礼申し上げます。最後になりましたが、献体者のご遺志を尊重して実習教育に全力を尽くされた教員の先生方に深い敬意を捧げます。また、学生諸君が今後さまざまな難儀に立ち向かった時に、本日のご遺骨返還式の意義を思い出してくださいるようお願いいたします。



献体の会会長ご挨拶 代読する兵頭副会長



## 感謝の言葉



東京医科歯科大学 学生代表

歯学部歯学科第二学年 杉村 日向子

はじめに、ご献体してくださった方々ならびにご献体を私たちに預けて下さいましたご遺族の皆様方に、東京医科歯科大学学生を代表致しまして心より感謝申し上げ、謹んで故人の方々のご冥福をお祈り申し上げます。

東京医科歯科大学では第二学年の四月から人体の骨格、筋肉の構造や神経・循環系に関する講義を受け、人体解剖実習を行わせていただいております。

本格的な医学・歯学を学ぶ専門科目の講義は、医療者を志しこの大挙に入学してきた私たちにとってとても刺激的でした。しかしながら自分のものであっても目の前で生きている人体の構造を直接観察することはできません。座学で医学・歯学を学んでいくにつれ、見えないものをイメージするという違和感を覚えました。

このような状況で私は人体解剖実習に対し、まだ未知の学問への期待と未知の世界への畏怖感を抱いていました。教科書とは異なり、実際に目の当たりにする死というものへの感情でした。

人体解剖実習の初日、私が感じた衝撃は今でも忘れることが出来ず、今の私の死生観に大きな影響をもたらしています。はじめてご遺体の顔と向き合ったとき、それまで持っていた違和感ともいべき不安は消え、ご遺体の一人ひとりがそれぞれ全く異なる人生を歩まれたことを強く感じました。献体をしていただいたからこそ、ご献体一人ひとりに尊敬の念をもって有意義な実習にしなければと思いました。

人体解剖実習では自らの手で構造を明らかにしなければなりません。実際の人体は解剖書でイメージしていたよりもはるかに複雑で、またご遺体によって細かい構造が全く異なりました。生身の私たちが一人ひとり外見も生きている環境も異なることは頭では理解しているつもりでも、実際に人体の細かい構造まで異なっていることを知るにつれ、将来医療者になるうえで人は誰一人同じ人はいない、従ってその時々真摯に相手に向き合わねばならないのだと感じました。

『知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する。』

これは、東京医科歯科大学の基本理念です。私たちは知識に偏っても、自らの感情に偏ってしまっても医療者と呼ばれることはできません。医学・歯学に関する知、知識を生涯積極的に学び続けること、様々な背景を抱えた患者さんと真摯に向き合い自らができる癒しを生涯追求し続けねばなりません。

献体していただいた方のご意志やご遺族の皆様方のご理解ご協力があってはじめて成り立つこの非常に貴重な機会を通し、改めて強く医療者になることを目指す覚悟が出来ました。解剖実習を通して学ばせていただいた知識、貴重な経験を活かし将来、医師・歯科医師として、医療にそして社会に貢献するため、生涯医学・歯学を追求し続けてまいりますことを故人の方々とご遺族の皆様にお誓いいたします。

終わりに故人とられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様方に心より感謝申し上げます、追悼の言葉とさせていただきます。

## 納骨堂の開眼法要

東京医科歯科大学の納骨堂開眼法要が平成二十九年三月十日、埼玉県毛呂山町の武蔵野霊園で営まれた。これまで納骨堂は千葉県市川市の総寧寺（曹洞宗の名刹）にあったが、同霊園に移転、施設完成に伴って行われた。

開眼法要は納骨堂に魂を入れる意味合いを持つ。この日は晴天に恵まれたが、風が強くやや肌寒い感じ。法要には吉澤靖之学長をはじめ大学教授職員や献体の会関係者三十数人が参加、読経が流れるなか全員が焼香して祈りを捧げた。

吉澤学長は開眼法要が営まれたことについて「献体は解剖実習に供された後、ご遺骨を家族に返還して完結する。しかし故あって本学に



新しく建てられた本学納骨堂

預けざるを得ない方々もあり、そうした人たちを弔うことは大学の当然の責務である。本日、この美しい静かな霊園に施設を建立し、ご遺骨を安置できることを非常に嬉しく思う」とあいさつした。

新しい納骨堂は広大な武蔵野霊園の奥まった一角にあつてシンプルな箱型の平屋建て（床面積六十一平方メートル）。旧納骨堂で使われていた御影石の花台や標札（黒地に白い文字で『納骨堂』と記されたネームプレート）、石碑（献体之碑）を移して継承した形になって

いる。旧納骨堂は東京医科歯科大学の教養学部が総寧寺の近くにある関係から同寺の敷地を借りて昭和三十二年に建てられたいきさつがあるが、手狭になってきたことや契約期限が平成二十九年九月に切れることもあつて今回の移転になった。新納骨堂の内部は遺骨を収容する三段の棚が設けられ広々とした感じ。窮屈だった旧納骨堂の三〜四倍のスペースはある。現在、総寧寺から移管した約八〇〇体の遺骨が納められている。

武蔵野霊園は民間の施設で葬祭

業者のムサシノパーク（本社東京都港区南青山五―四―二七、松山さち子社長）が管理、運営に当たっている。霊園の面積は九万九〇〇〇平方メートルと東京ドームの二倍強の広さで昭和三十五年に開設、半世紀以上の歴史を持つ。交通アクセスは電車なら東武鉄道の池袋駅から東上線、越生線と乗り継いで武州長瀬駅下車徒歩五分、車なら圏央道の県央鶴ヶ島インターから約三十分。

霊園周辺は自然豊かなたたずまい。有名な越生梅林があり、ハイカーに人気の鎌北湖は奥武蔵自然歩道の起点になっている。埼玉医科大学や明海大学など文教施設も多く、それだけ教育環境に恵まれているわけだ。



僧侶による誦経

篤志献体活動の報告会ならびに  
 第四十二回東京医科歯科大学献体の会総会

平成二十九年六月十七日(土)午後一時より、東京医科歯科大学M&Dタワー二階 鈴木章夫記念講堂において、篤志献体活動の報告会ならびに東京医科歯科大学献体の会総会が行われました。梅雨時期でありながら、天候に恵まれ、会員一七四名、同伴者二十三名の参加がありました。

先ず、運動器機能形態学講座の二村准教授の司会で、参加者全員で成願者に黙祷を捧げ哀悼の意を表しました。続いて、解剖学教室の教授紹介と、秋田恵一教授による平成二十八年度篤志献体活動の現況報告がありました。平成二十八年度東京医科歯科大学への献体成願者数は一〇八名であったこと、平成二十九年三月三十一日現在の生存会員数が二四七五名であったことが報告されました。また、本学の納骨堂が埼玉県入間郡毛呂山町に移転され、平成二十九年三月に開眼式が執り行われたことが報告されました。

引き続き、兵頭作一副会長の司会で東京医科歯科大学献体の会総会に移り、興地歯学部長と佐藤献体の会会長にご挨拶をいただきました。さらに、献体の会 磯秀夫理事より、平成二十九年三月に長崎大学にて開催された篤志解剖全国連合会総会の参加報告がありました。十



献体の会会長挨拶

分間の休憩後、「本気の認知症予防」と題して、メモリークリニックお茶の水院長 朝田隆先生のご講演を拝聴しました。アルツハイマー病に対する二次予防では非薬物療法が注目されており、運動習慣、知的活動、生活習慣病対策が有効であるというお話がありました。ご講演後、会員の方々からいくつかの貴重な質問、意見をいただいた後、午後三時過ぎに解散となりました。



会員による作品展示



朝田先生のご講演



本学茶道部によるお茶席

## 平成二十九年度 東京医科歯科大学解剖体追悼式

東京の最高気温が十二・三度という十二月並みの寒い日、しかも台風二十号の影響で一日中、雨が降り続いた十月十九日（木）の十三時から東京の築地本願寺で恒例の東京医科歯科大学解剖体追悼式が執り行われました。

式は開式の後、献体成願された三五七柱のお名前を奉読の後、参加者全員が献体者の方々に黙祷を捧げました。

続いて吉澤靖之学長の追悼の辞、来賓である浅野正樹東京医科歯科大学歯科同窓会会長、学生代表である歯学部歯学科の秦健太くんの追悼の辞が述べられました。

その後、献花となり学長、理事、学部長、附属病院長、歯科同窓会会長、医科同窓会会長、武蔵野霊園代表取締役、追悼式委員一同、ご遺族の皆さん、献体の会会員、教職員、学生一同が菊の花を献花しました。

次いで、献体を受ける立場の北川昌伸医学部長から、ご遺体を通して実習を受けた学生は講義とともに卒業後の医療の実践に忘れられない心の拠り所となっている旨の挨拶があり、閉会となりました。

その後、築地本願寺による追悼法要が行なわれ、七人の僧侶の読経の中、参列者が焼香し、ご住職の諸行無情を説いた親鸞聖人の法話を拝聴して解剖体追悼式は滞りなく終了しました。



北川医学部長の挨拶



大学関係者による献花

## 追悼の辞



東京医科歯科大学学長 吉澤 靖之

本日ここに、国立大学法人東京医科歯科大学解剖体追悼式を挙げるにあたり、解剖学・病理学並びに法医学解剖に、ご遺体を捧げてくださいました三百五十七名の方々に対し、謹んで哀悼の意を表すると共に深い感謝の念を捧げるものであります。

人体解剖学は、医学・歯学の次世代を担う医療人の育成に当たって誠に重要な意義を持っております。

解剖学実習では、学生はご遺体を通して人体の構造や機能の基礎を習得しつつ、初めて、死という逃れようのない生命の尊厳に直面します。これを機に、学生は「自分自身が快適に生きたい」という受動的・利己的な意識から、「自分以外の人が快適に生きるために」という能動的・献身的な思念に変わり、自分たちは「世のため人の為に医学の道で研鑽を積むのだ」と、医療人としての決意を新たに、自律していただくこととなります。

病理解剖では、担当の医療チームが現代医学の叡智を駆使し、全力を挙げて治療に臨んだにもかかわらず、効を奏さず、ご遺族の願いも虚しく、帰らぬ人となったご遺体を解剖させていただきました。ご遺体より提供された病巣や臓器の精査と治療結果から知り得る新しい知見は、同じように悩む他の大勢の患者さんの治療あるいは発症予防に役立てることができる貴重な示唆を与えてくださいます。

また、法医学解剖は、黙して語らぬご遺体の死因を特定し、時には

犯罪性の有無を明らかにして、社会の秩序の維持に役立つものであります。

このように、それぞれのご遺体は、それぞれの立場で医学・歯学の進歩に光明を投げかけて下さり、そして人間教育の上で、何ものにも変えがたいご教示をいただき、学生の蒙を啓いてくださいます。

医学・歯学の発展のためとはいえ、自らご遺体を献体される崇高純粋な精神、そしてご遺族の示される深いご理解とその寛容なお心に、私どもは改めて深甚なる感謝と敬意を表し、また、心を新たにし、一意専心医学・歯学の教育・研究に一層の精進を重ねることを、固く誓うものであります。

東京医科歯科大学は、菊薫る本日、ここにご遺族並びにご列席の献体の会会員の方々、そしてご来賓の方々とともに、ご遺体を賜りました故人の方々を偲び、ここに謹んで追悼の辞といたします。

平成二十九年十月十九日



## 追悼の辞



東京医科歯科大学歯科同窓会会長 浅野 正樹

本日ここに国立大学法人東京医科歯科大学の解剖体追悼式にあたり、追悼の言葉を述べさせていただきます。

私たち医学・歯学を志した者は、その教育・研究・臨床に際して捧げられました御慰霊に対して謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご理解あるご遺族の方々に心よりお礼と感謝を申し上げます。

振り返ってみますと医学部同窓生・歯学部同窓生は東京医科歯科大学に入学して最初に感動と興奮を覚えるのが、解剖学の講義と実習でした。

その際に、教授をはじめ医局員の先生方より、懇々と解剖体の尊さにご遺族の方々の並々ならぬご理解があつてこそ、今ここに解剖実習にあたる事ができるということを、常に念頭に置くようにと諭されました。

日本に限らず世界の医学・医術の進歩発展は、解剖学なくしてあり得ません。

素晴らしい医学医療の技術は特にこの半世紀、大きな変革をもたらしました。

振り返って見ますと、エイズやエボラ出血熱を始めとする重篤な感染症、或いは治療法の確立していない病のために、多くの人が痛みに耐え、そしてお亡くなりになっております。その解明にも、ご理解あるご家族のもと、献体が重要な役割を果たしていることは申すまでも

ありません。

法歯学の面から見ますと、歯学には口腔解剖学がございしますが、この歯牙を中心とする口腔内組織の解剖学が、法医学におけるDNA鑑定などとともにも身元不明人の割り出しや事件の解明に大きく役立っておりますことは、多くの方々の周知の事実であります。

一九八五年（昭和六十年）、群馬県御巢鷹山に日航ジャンボ機が墜落し、多くの尊い命が失われましたが、その時の遺体の身元確認作業に群馬県歯科医師会の会員が総出であつたことは良く知られているところでは、それを契機として全国的に「警察歯科医会」が結成され警察当局と連携し、色々な方面で活躍しています。

また、二〇一一年（平成二十三年）三月十一日の東日本大震災において多くの方が亡くなり、いまだに行方不明の方々がいらつしやる中、岩手、宮城、福島3県の歯科医師会の会員を中心として全国から歯科医師が集まり、解剖学で学んだ経験を活かし身元不明の方々の確認に奔走したのは記憶に新しいところでございます。

このように医学全般の教育・研究のみならず、解剖体とその御霊は多くの国民の方々に役立つとともに将来の人間の存在価値に関する身体・精神に崇高なる考えを浸透していくことと思われまふ。

今後、いかに科学の進歩発展がありましようとも、このような考えが基本にあるのが医学であり、医療に携わる者は常にこのことを肝に銘じて、努力をしなければなりません。

本日ここに、ご遺体を捧げてくださいました357名の方々に對し、謹んで哀悼の意を表すると共に、ご遺族の方々、献体の会の会員の方々のご協力、さらに東京医科歯科大学のお心遣いに衷心より感謝申し上げます。

平成二十九年十月十九日

《篤志解剖全国連合会関係行事》

篤志解剖全国連合会  
第四十一回団体部会・大学部会合同研修会

平成二十九年三月二十六日(日)午後一時から、長崎大学の中部講堂で、篤志解剖全国連合会第四十一回団体部会・大学部会合同研修会が開催され、北は北海道、南は沖縄の琉球大学までの団体部会、大学部会の二一〇名の参加者がありました。

会は佐藤二美教授(東邦大学、篤志解剖全国連合会事務局長)、伊藤正裕教授(東京医科大学、篤志解剖全国連合会常任幹事)の司会で始まりまし。開会に先立ち、内野滋雄名誉教授(東京医科大学)に

対して日本篤志献体協会佐藤達夫会長から篤志献体賞が授与されました。

次に松村譲児教授(杏林大学、篤志解剖全国連合会会長)の挨拶に続いて「献体登録から成願までの課題―後見人制度について学ぶ―」というテーマで三人の講師による講演がありました。

講演1 講師は東啓二特任専門職員(東京大学)で、「人生設計を実現されるための任意後見制度」と題して任意後見制度の概要につい

て講演されました。

講演2 講師は佐藤巖教授(日本歯科大学)で、「献体の意思尊重と後見人制度について―献体登録者の家族状況の実態」と題し、日本歯科大学の献体登録者の状況を紹介し、今後の諸問題について講演されました。

講演3 講師は坂井建雄教授(順天堂大学)で、「献体は必ず実行できるのか? 不献体のリスクについて考える」と題して家族の承認の必要性の問題について講演されました。この後、各講演についての質疑応答が行われ、閉会となりました。



開催大学 長崎大学の正門



会場の中部講堂 外観

## 第四十七回篤志解剖全国連合会総会

平成二十九年三月二十七日（月）午前十時から、長崎大学中部講堂で、篤志解剖全国連合会第四十七回総会が開催され、団体部会、大学部会の二二二名の参加者がありました。

会議は天野修教授（明海大学）の司会で始まり、開催に先立ち、参加者全員により、献体成願された方々に対して黙祷をしました。

次に、松村譲児教授（杏林大学、篤志解剖全国連合会会長）の挨拶、開催大学である長崎大学の弦本敏行教授の挨拶に続き、次の来賓の挨拶がありました。

鳴下一郎、三ツ林裕巳、赤枝恒雄 各衆議院議員、羽生田俊、櫻井充、関口昌一 各参議院議員、森 文部科学省高等教育局医学教育課長、横倉 日本医師会会長、堀 日本歯科医師会会長、中村 長崎県知事（濱本副知事が代理出席）、田上 長崎市長、蒔本 長崎県医師会会長、許斐 長崎県歯科医師会会長、片峰 長崎大学学長、下川 長崎大学医学部長、澤瀬 長崎大学歯学部部長、藤本 日本解剖学会理事長、小路 第一二二回日本解剖学会総会会長（長崎大学医学部教授）。

その後、議長選出の後、平成二十八年度会務報告、調査委員会報告、財政に関する委員会報告、第四十一回団体部会・大学部会合同研究会報告、第三十四回献体実務担当者研修会報告、公益社団法人 日本篤志献体協会報告、その他などの報告事項が報告されました。

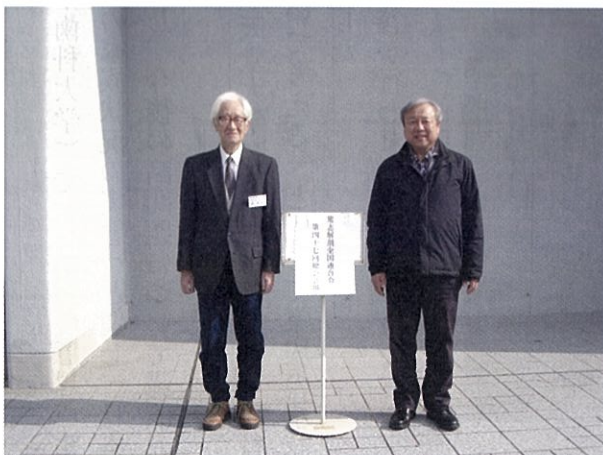
続いて協議事項として、平成二十八年度収支決算承認について、平成二十八年度監査について、平成二十九年度事業計画（案）について、平成二十九年度収支予算（案）について、東北医科薬科大学、国際医療福祉大学の加入について、その他について、資料に基づき協議が行われ、質疑応答の後、いずれも原案どおり承認されました。

最後に、次回の開催大学である日本医科大学 小澤一史教授からの



篤志解剖全国連合会総会

ご挨拶、熊木克治副会長（篤志解剖全国連合会）から閉会の挨拶があり、無事閉会しました。



総会に出席した  
磯理事（左）と  
齋川大学職員（右）



《佐藤達夫献体の会会長が「秋の叙勲」受章》



菊薫る十一月三日、本会の佐藤達夫会長が、東京医科歯科大学名誉教授として瑞宝中綬章を受章しました。佐藤会長は、本学において教授として二十九年余り教育、研究に精励し、解剖学第二講座および機能解剖学分野を主宰されました。また、本邦ではなじみの薄かった臨床解剖学の確立に貢献され、佐藤会長が報告なさった多くの解剖学的知見は、とくに腫瘍を扱う外科手術の術式の理解や開発に広く応用されることとなりました。

謹んでお祝い申し上げます。  
なお、本学の宮入裕夫先生も名誉教授として同様の章を受けています。

(い)

《会員寄稿》  
【随筆】

遺骨返還式に参加して  
体験と感動話

3186 三浦 教子

前回に「献体の重要性」を語り、私の心の財産となりました。日本で献体の重要性を全く知らない人が多すぎるのに、激怒を覚えまし

た。そんな時、知人T子氏に求められ、私の体験したこと全てをお話しました。そうしたら目にうつつすらと涙をうかべ、「はじめて知りませんでした」と。「そういう制度すら知らずに生きてきました。これからでも遅くないですね」と。数日後、献体の登録をして頂きました。一人でも、私の力で救ったという自覚に拍手しました。

今回は亡夫（一耕）の遺骨返還式に人生初めて参加し感じたことを述べます。一人の尊い命で人間として、この世で精一杯「己がじし」生き抜き、めぐり会い愛し合い、やがて別れの時、その時に、くやまなき様、死後の計画を一人一人すべきではないでしょうか。今回世間一般の体験談をあらゆる角度より情報収集したところ、先祖代々の「お墓」を管理している方は安定していますが、他の方々は自分の死後は全く考える気持ちもありません。私も変わりませんでした。この献体登録により、多くの発見がありました。まず、十月に築地本願寺で行なわれた解剖体追悼式で胸にきざまれたことがあります。「皇室の行事」のような「雅楽」演奏による式典、それに僧侶の高貴な講話が心に深くきざまれました。それに東京医科歯科大学の学長をはじめ、教授先生、それに将来の日本を支え、医学の道を日本国のために人間の命を改善して下さる貴重な学生一同に「深く期待と信念」に胸いっぱいになりました。又、遺骨返還式には、担当者二名が白い手袋着用し、それも一人一人の遺骨を丁寧に席に届けてくれ、それも「紫」つまり皇室によく使われる高貴な色の布に包まれ、安置、そして学長よりの、文部科学省よりの一人一人に「感謝状」を頂き遺族としては、最高の葬儀を体験しました。そしてお墓なき方は、武蔵野霊園に丁寧に安置されています。

私は、①献体登録、②遺骨返還式をこの目で、たしかめての結論です。どうか、こういう制度をご理解していただけると、将来の日本国の医学発展のため貢献して頂けると私自身幸福に感じます。

## 健体を献体 「夢」を仕込み熟成中

3941 吉本 亮三

彩の国いきがいで大学和光学園コミュニケーション科で学んでいる。

先週土曜日朝日新聞Be面「人間はワインと同じ、ルーツを知り、共通項を増やす」ライフネット生命出口治明さん「二語一会」でキッシンジャー元米国務長官の言葉と紹介された。後にコミュニケーションの神髄もここにあると気付いたとしている。共通の知識や体験、嗜好といったテキストをどれだけ持っているか「その関数で決まる」ということだ。そして出口さんは「これからは、若い世代を育てるためのコーチに廻ります。会社の顔を出し、人と会ったり、本を読んだり、好きなことを極めるのが、いちばん共通テキストを増やせるんです」とむすんでいる。

ワインといえば、富士見市民大学「エッセイ教室」初回の教材が、埼玉新聞スクラップ「還暦のヴィンテージワイン」(玉村豊男)であった。「ワインは時を経れば熟成するが、中には腐敗するものもある。熟成と腐敗は紙一重で、これも結果からしか判断できない」、還暦後に「老化を押しとどめながら成長を続けることができるか、腐敗しないように気をつけながら、うまく熟成できるか」と。

ワインの楽しみ方も知らないのです。「ヴンテージ」一九四五年産は、ヨーロッパのワイン史上三本の指に入るグレートヴンテージといわれても、ちんぷんかんぷんの世界だった。

先日甲州勝沼ワイナリー地下倉庫に眠るオーク樽を見学した。日航ジャンボ機事故で逝った坂本九(享年四十三)樽も熟成中で奥様に毎

年「夢」を贈り続けている。「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」はオカリナで演奏する好い歌であるが、こんな夢の遺し方もあったんだ。

仕事のみから解放された還暦後「共通項をふやす」ことに努めている。埼玉都民から埼玉県民に、そして富士見市民へと。富士見市民大学、富士見市コミュニケーション大学、そして彩の国いきがいで大学で多種多様な分野で活躍した経験者とのコミュニケーションで知識を仕込む。毎年、課題学習やグループ学習が課せられる。テーマ設定をし、企画、資料収集、現地調査、実践し、レポートをまとめ、パワーポイント等による発表会資料作成等に取組む。その中でも共通テキストをどんどん増やしていく。

が、メインは地域中心に移して来ている。管理組合、町会、ラジオ体操指導、地域の健康体操指導等に積極的に参加している。また熟成中ではあるが、オカリナ、朗読での発表会や施設訪問をする。

この経験より、巡り合った人々に教えを請い、生涯学習の場で心の師を見つけ、地域を歩く中で、いつからでも学ぶことが出来ることを確信している。これからも仕込みを続け、熟成させ役に立てたら…。

そして、最期は熟成の完成形の「健体を献体」成願が「夢」である。まあ、あせらずにひと休みも必要。もう少し生きられるだろう。尿酸値が高い、ワインでなく焼酎のお湯割りを、もういっぱい!

(平成29年七月一日)

## 流転八十年

4785 磯 秀夫

栃木県安蘇郡新合村 県南の一寒村です。当時の様子は分からないが昭和七年、人口が一人増える。「ちちははもおのれも知らぬ呱呱の声玻璃戸つめたき朝に生まるる」いやいや、ちちもははも分かっています。父は那須郡南金丸村の三男坊、母は芳賀郡長沼村の長女です。

安蘇郡常盤村 仙波の駐在所で弟と妹が生まれる。

上都賀郡足尾町原 十三年、父の転勤で御影石に一栃木県上都賀郡足尾町原尋常小学校」と彫ってある小学校に入学、校門を入ると二宮金次郎像が出迎えていました。三学級の複式学級です。八月、四百ミリを超す大雨で渡良瀬川の吊橋を渡り原向に避難する。

足尾町通洞 足尾町尋常高等小学校に転校、男女七歳にして席を同じうせず、四年になると男子と女子は別れます。「五歳の玉魂は招けども返らずして九原の露影は草根に収まりぬ」お河童の妹がお被布とぼつくりを残して黄泉の国へ。家は五軒長屋で水場は向いの長屋と共同です。家からは銅の鉾石を運ぶ鉄索も見えます。十九年、太平洋戦争で国民学校と改称した初等科を卒業しました。

栃木市富士見町 いがぐり頭に胸に名札をつけ、足尾の同級生と下宿屋から入舟町の中学校に通う。朝礼で「あさみどり ……」を奉唱する。お国のために陸軍幼年学校を志願するが、身体検査で即日不合格に。

那須郡大田原町寺町 十九年八月、父の転勤で中学校を転校する。学校では授業の外「勤労作業二振替へタル日数又ハ時数ハ之ヲ授業シタルモノト見做スコト」により近くの農作業の手伝いに、二十年には勤労奉仕で近くの飛行場の滑走路整備を、星のマークの襲来もあり、八月十五日は講堂で玉音放送を聞く。二十一年夏、原因不明の腸チフ

スに罹り町はずれの避病院に隔離、九死に一生を得る。

大田原町沼袋 父が家を建て、転居する。二十五年三月、新制の高校を卒業、一期校、二期校を受験するが結果は「サクラチル」。

那須郡伊王野村 二十五年八月、小学校の助教諭に。朝礼台の上から全校生に学生服で挨拶をする。五年男女五十一人の担任に、自宅からは通えない。高校の同級生と宿直室で自炊する。進駐軍の命令で子供達にDDTを振りかける。五年の遠足は白河の南湖公園に。

神奈川県横須賀市内川新田 通称は久里浜です。旧海軍通信学校で採用試験を受ける、月給三七五〇円、旧診療所を宿にする。江戸時代末期、黒船で来航したペリー提督の上陸記念碑が近い。夏は久里浜海岸で同僚と海水浴を。花見は観音崎の灯台で車座に。

東京都港区芝海岸通り 三十年、勤務先が旧海軍経理学校に移転し独身寮に。三畳ほどの女中部屋がありました、女中ではないがこの部屋で寝起きする。風呂は一六円を持って銭湯「帝国湯」へ。お江戸日本橋から東海道最初の宿場品川宿は歩いて十分位です。自炊だから夕方になると買い出しに行くが二階の出窓から手招きされたことも何度か。この頃なぜか体調を崩す。三十一年「ふじの山夢に見るこそ果報なれ路銀もいらす草臥もせず」ではダメ、勤め先の男女六人で富士山に登山、山頂で「頂上 浅間大神神璽」のお札を戴く。

埼玉県蕨市土橋 われは鶴を君は孔雀を、二十二年間生まれ育った家をあとにした新妻と四畳半三畳の二間で蜜月を過ごす、風呂は近くの富士山の見られる銭湯「日の出湯」へ。エンゲル係数は五割を割らない。

神奈川県藤沢市鵜沼 通称は上鯛です。周りには別荘もありますが内風呂付き六畳三畳の六軒長屋に。東京オリンピックの年に長男が、つづいて長女が生まれる。両親も目を細める。海岸に近いので庭はそのまま砂場に。

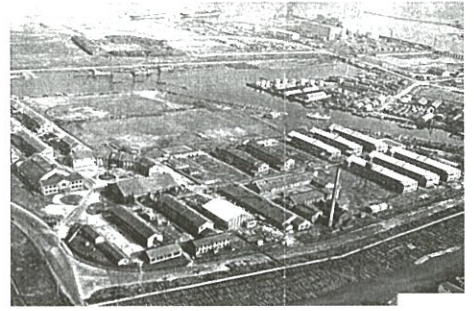
藤沢市辻堂 鉄筋コンクリート造、バス、トイレ付の最上階の五階



旧海軍経理学校本部



観音崎の灯台で



経理学校全景（昭33年）

和になる。「世の中はいづれかさして我がならむ行きとまるをぞ宿と定むる」市営霊園に一度で当選したが、入るのはお互い譲り合う。孫は二人になり、いつの間にか祖父の座に。還暦を迎えると定年となり、同期の数人と花束を抱え、花道を歩む。父と母は故郷で他界する。

さいたま市 平成十三年、浦和市大宮市与野市の三市が合併して市の名称が変わる、十七年には隣接の岩槻市も加わるが、わが家は変化なし。「髪は烏の濡れ羽色」は共白髪に。無事古稀、傘寿を迎える。バツのつかない五十年、金婚式も迎える。米寿、白寿とあるがこちらは迎えられるかどうか分からない。

へ。海よりなので相模湾の眺めは抜群です。緑の江の島は勿論、洋上遙かに伊豆の大島も眺められる。ただし、台風の時には要注意。息子と娘は徒歩五分の小学校にあがる。近くに相模国の一宮寒川神社もあります。初詣、七五三の祝いには故郷から出てくる父母と鎌倉の鶴岡八幡宮へ。

埼玉県大宮市 頭金を工面して団地のマイホームに、二人の子供は一、五キロの中学校と小学校に。勤め先も東京から浦

## 病気になって考えたこと

5184 長谷 久枝

祖父と父を癌で失っている私は、いつかは自身も癌になるかもしれないという覚悟のようなものが、気持のどこかにあったような気がします。

ですから昨年、かかりつけのクリニックで医師から乳癌を告げられた際にも、それ程大きな衝撃は受けませんでした。

そして以前から考えていた通り、手術も抗癌剤治療や放射線治療なども受けず、緩和治療を受けたいと申し出ました。

かかりつけの医師は「一度大きな病院で、きちんと診断を受け、治療方針を決めて貰った上で、その治療方針に従って、ここで治療するということであれば受け入れます」と言うのです。そして、都内の総合病院を紹介されました。

家に帰り、家族に（家族と言っても、妹二人と末妹の夫です）話をする、全員から大反対されました。治療できるものなら、手術でも抗癌剤でも何でもしてほしいと言うのです。

そして、末妹は「治療できることは何でもして、もう少し皆で楽しく暮らそうよ」と言いました。その言葉にジンとして、私の覚悟も揺らぎました。

総合病院の予約の日、私を一人で行かせて緩和治療で話しを進められては困ると思った訳でもないでしょうが、妹二人が付き添ってききました。

最終的には医師からの説得もあり、私の覚悟とは裏腹に、抗癌剤で癌を小さくした後、手術をするということになりました。結局、手術の後は放射線治療、その後にホルモン剤治療と続き、私が受けたくないと saying いた治療の全てを受ける結果となりました。

抗癌剤治療のための通院が始まりました。担当の先生、看護師さんたちの対応は丁寧で親切、そして優しく、安心して治療を受けることができましたが、抗癌剤というのはやはり身体的ダメージの大きなものでした。

主治医、看護師さんたちだけではなく、さまざまな検査を受けるたびに、各検査の技師さん、受け付けの皆さんまでが、患者に対して優しく親切に心配りして下さることも、とても有り難かったです。

入院中、手術時には、手術担当の医師たち、麻酔の先生、手術室の看護師さんたちの親身なお世話に加え、食事に関わる方、病室のお掃除をして下さる方などなど、私という病人一人のために、何と多くの方たちが手を尽くしてくださっていることかと、頭の下る思いでした。

そのように考えますと、病院には食事を作って下さる方々、検査の機械、器具を点検したり、電気系統を維持して下さる方々などなど、目に見えないところで働く方たちの何と大勢いらっしやることかと、改めて思いました。

その方たちの働きがあつてこそ、患者は安心して治療を受けることができるものだと思つたものです。

昨年六月に癌の宣告を受けてほぼ一年、緩和治療だけを受けるつもりが、思わぬ転回となりました。

これまで大きな病気をすることなく過ごしてきたこともあり、手術を受けるのは恐いという思いでいっぱいでした。

しかし、手術当日は医師も看護師さんたちも、淡々と、でも十分な心配りと優しさで手術に導いて下さり、全身麻酔であつたこともあり、気がつけば手術は終わっていたという感じでした。

術後の痛みを止めるため、看護師さんを何度か煩わせましたが、その後の経過も良く、一週間ほどで退院できました。

人生も終盤となり、手術を受けなければならぬ病気にはなりませんが、その経験から得たものは、計り知れない大きなものであつたと

思います。

病院でも、とても多くの方たちのお世話を受けましたが、家族や友人、知人にも励まされ、支えられて一年を過ごしました。

人は一人では生きてゆけないとは、よく聞く言葉ですが、その言葉と身をもって実感しました。

たくさんの方から受けた親切、優しさ、心遣いなど、忘れることなく、これからの残された人生をいきてゆきたいと思えます。



## 私が献体登録した理由（鍼灸師の立場から）

5482 広田 順子

私が初めて献体という制度を知ったのは、鍼灸学校の実習で解剖見学させていただいた時のことでした。

意外に思われるかも知れませんが、鍼灸学校では東洋医学だけでなく、解剖学や生理学、病理学など、西洋医学の基礎も一通り学びます。そして、国家試験を受験する前に、実際のご遺体を拝見させていただくのです。

私の通った学校では、医科歯科大での解剖見学が一度だけカリキュラムに組み込まれていました。

鍼灸師は実際にご遺体を解剖することはできません。人体を解剖するには非常に厳しい資格が必要で、鍼灸師は医科歯科の先生方があらかじめご用意くださった献体を見学するのです。

あるご遺体は神経が分かりやすいように、別のご遺体は筋肉が分かりやすいようにという具合に、目的に沿って解剖が進められています。それらを拝見しながら、ご遺体のご遺志とは、なんと尊く有り難いものかと、私はしみじみと感じました。

鍼灸師が言うのもなんですが、解剖学というのは全ての医学の基礎になるものです。身体の地図であり番地です。どこにどんな筋肉が、どの方向に向かってついているのか、神経はどこを走っていて、動脈はどうなっているか、臓器はどんな並びで収まっているのか、それらを知らずに鍼を打つことはできませんし、まして患者様の症状を改善することなど到底できません。

私達鍼灸師の卵に許された解剖見学の機会はたった一度ですから、解剖学の教科書で三年間学んできた知識を十分に反芻し、当日の解剖学実習に臨みます。見学だけで分かるのかと言われそうですが、実際

の「人体」を目にすることで初めて、真の意味で知識が二次元から三次元へと変容するのです。

たとえるなら、地図を頭に叩き込んで、かの地を訪れるようなものです。地図でイメージした通りの街並みもありますが、そこには思いがけない花が咲いていることもあります。想像と体験、そのくらい大きな違いを持つのが解剖見学なのです。

見学を始める前と終えた後の黙とうの間、ご遺体に心から感謝したことを覚えていきます。その時から、私もあのように医学の役に立つてみたいと思うようになりました。

「人生五十年」の時代は昔話となりましたが、五十歳になったら献体登録しようと思いに決めていました。ところが、世はにわかにならないうちに「住んでいた場所の白百合会では「しばらくの間献体受け入れは中止」とのこと。私は、この体はやがてただ灰になるのかとガツカリしていました。

そんな頃、鍼灸学を極めるため、大学院に入学いたしました。自分の鍼灸院も開業しているのに今更？と驚かれたのですが「鍼灸師は一生勉強」との持論に従っての行動でした。そこで出会った解剖学の教授に相談したところ「医科歯科大なら献体受け入れてくれるのでは？」とのことで、勇んで手続きをしたのです。

長年の願いが叶い、献体登録番号を受け取った時の喜びと叫びました！変な喩えだと笑われるかもしれませんが「娘を嫁に出した親の心境」のようだと思います。「身体の嫁ぎ先が決まった。これでいつ死んでも安心」という気持ちです。

私は、医科歯科大でご遺体が大切に扱われ、多くの医療関係者に福音を与えていることを知っています。私が実際にそれを味わったからです。これからも多くの尊いご遺志により、この制度が存続していくことを心から祈っております。

## へび談議

5575 橋本 収子

題名からして、〃ギョツ〃とする話です。五月の連休は家の者が、それぞれ出掛けていてテレビのニュースでは道路の渋滞情報が流れている中、私は自分なりの自由を満喫してました。

処が連休の後半は一瞬にして気が重く、私の心は晴天の霹靂とはこの事と感じる出来事が起きました。

いつも通り帰宅した孫が部屋から「何を買ってきたと思う？」の声に嫌な予感がしながら「何なの？」と、おそる、おそる覗くと想像を遙かに超えてありえない「へび」・・・でした。

まして部屋の中のケースに入っているとはいえ声も出ません。私は、かなり鬼の形相になっていたと、あとで言われました。

それでも孫は、セッセとケースの中へ紙を敷き、水等の準備をしている様子です。

「原宿の店で二万二千円だった」とのたまうので、「値段の問題ではありません」と返しましたが満足気な顔でいる姿に、これから一緒に過ごさなければならぬと思うと、大げさと思うかもしれませんが、ユウツな毎日が始まる、と嘆きたくなりました。

処が衝撃的な事は、これからでした。

〃餌〃です。

ドッグフード、キャットフードの類しか全く頭になく知った時はパニック状態でした。それなのに「明日、冷凍で届くから受け取っておいて。」

誰が、誰が受け取るの・・・私しか家に居ないじゃない(泣)

当日は朝から構えの状態に入り、いざ届いた時は受け取れず箱を投げ出してしまったので、配達の方も〃ビックリ〃してました(スママ

セン)。

配達の方も忙しいのに随分手間を取らせてしまいました。結局、届いた中身は〃えさ〃ではなく〃洋服〃だった。と、とんだ人騒がせで終わり〃エサ〃は一日延びて又、明日までの緊張が始まります。

その、明日の日。

昨日と違う配達の方で〃良かった〃んですが一応、おそる、おそる、「冷凍品ですよね〃冷凍室へ入れて頂けないでしょうか」と、お願いしてみました。が、「戸口で渡す事が原則です。」と断られてしまいました。

今迄は、ほぼ毎日のように口にする肉、魚も当然のように冷蔵庫へ入れて出し入れしてました。へびがどうこうではなく人間も同じ肉食動物の類であるのを、すっかり忘れていた事に、気付かされました。

献体させて頂くに当たりまして医学生も並々ならぬ精神で努力されていなくてはならない御苦労を感じずにはられません。

それは今回の尋常でいられなかった私の状況から深く考えさせられました。

へびの寿命は十年位との事です。

私の寿命と、どっちが永いでしょうか・・・

これからも、成長につれて太さも変わっていくでしょう。幾分、慣れてきても、〃エサ〃時にはズーっと先も立ち会えないまま続きそうです。

## ある高齢者の生きがい

5629 入内島 健次

高齢者に生きがいはあるだろうか？

私は、後期高齢者、八十二才の独居老人です。友達もほとんどいません。

世間のお年寄りに尋ねれば、おそらく、子や孫の成長をたのしみに行っている、と答える人が多いでしょう。可愛い孫と触れ合うことで生きるエネルギーをもらっている方も多いと思います。

ところが、単身者の私には、そんな喜びはありません。

独居老人に生きがいなど無いだろうと思うのがふつうでしょう。

ところが、ドッコイ、希望も生きがいも持っているんです。

そして、それなりに考え、努力しています。

「いま、あなたの願いごとは何ですか？」と聞かれたら、

即座に、答えます。

「五体満足で、献体がかたうことです」と

でも、考えてみると、私の場合、これが意外と難しいことが解りました。

一人暮らしで、孤独死するかも、と思うからです。

死後、時間がたって発見されたり、不審死で司法解剖されたら、献体は不可能です。

そこで、こんな事態を絶対にさけるために、日々心がけ、いろいろやっている事があります。

まず、第一は健康です。

それには、食事と運動が肝心、毎日、野菜をたくさん食べ、肉も少し多めに摂っています。モズクが良いと言えば、これも毎日食べています。とにかく、バランスのいい食生活が一番。毎朝、体重をはかっ

て、記録するのも、楽しみになってきました。

運動、これは毎日習慣になっています。

まず、下半身を強くする、自己流の体操をして、それから、四十分行のウォーキングを、少し速足でしています。近くの小川沿いの遊歩道を、折々の草花をながめ、水鳥の様子をながめ、季節を感じて、朝の楽しいひと時になっています。

そして、これが思わぬ効果がありました。

食欲が出て、何を食べても美味しいし、夜もよく眠れます、七時間ぐっすり眠ります。

もう、毎日欠かせません。

それから、認知症の予防も大事です。

幸い、パソコンを利用して、いろいろやっています。

脳トレゲームと言うのがあって、これが結構役に立つ。

先ず難読漢字を打ち込むゲーム、これは勉強になるし、難しい漢字を読んで打ち込む、ゲーム、指先のトレーニングには最適。

次は、算数の早打ちゲーム、楽しいし、興奮する。数字の計算をして、即座に打ち込む

簡単な計算だが、早さが勝負、夢中になってしまう。

最後は、トランプの神経衰弱ゲーム、記憶力の衰え防止にはとても良いです。

最近、いろいろな数字を、よく覚えられるようになりました。

それから、株式にも関心を持っています、株を持つことで、経済ニュースを注意深く眺められるし、あらゆるニュースも聞き逃さない、気分です。

トランプ氏の発言から、フランス大統領選、国内政治のあれこれ、いろいろ関心を持って見えています。



また、スポーツ観戦もボケ防止に最適です。

私は、Jリーグ、地元のFC東京のサポーターを自任しています。

味スタでのゲームは全て応援に駆けつけます。チームが勝利した時の喜びは、何にも代えがたい嬉しさです。若い人たちと一緒に大はしゃぎ、老いの血が踊ります。

最近、スタジアムに高齢者がかなり多くなってきました、聞くと、八十代の方々も少なくありません。

揃いのユニフォームを身につけて、一緒になって、応援する、そして、元気を貰います。

また、時には、気に入った展覧会があると美術館にも行っています。幸い、退職後の甥がいますので、連れ立って行き、あれこれ美術談議に花を咲かせています。伊藤若冲展やムシャ展は印象的でした。

また二ヶ月に一回、ボランティアまがいのこともやったりもします。いろんな人と会えるのも楽しいところですよ。

今のところ、ボケている暇は有りません。

生き物には必ず、死がやってきます。

ましてや、高齢者に残された時間は、限られているかも知れません。少なくなった時間を、少しでも楽しく、なにか目標を見つけて、いきいきと明るく、過ごしていきたいと思えます。

それには、何といたっても、健康、一にも二にも健康、そして、安らかな平穏死を希望して楽しさを見つけながら、生きていきたいと思えます。

おしまいに、詩人 種田山頭火のうたを

山あれば 山を観る

雨の日は 雨を聴く

春夏秋冬

あしたもよろし ゆふべもよろし



## 【詩】

歳

2403 照井 きぬ

とし相応の意識は

深い「しわ」の存在を指差し

「装う気概」に水をさす

とまどう心に

やんわりと

「さいわい」を自覚させるまともな  
意識もある

「まだイケル！」

深呼吸に

一日の始まりをうながされ

なれた習慣も

動き出す

一人食事の至福を浮かべ

「うつわ」を並べる

ここには

まだイケル！の

キボウがある

## 【短歌】

4296 富沢 静子

明け暮れて偲ぶさびしさ身のよわさ四季折々の花に語らむ

神の愛分け隔てなく注がれる励む友にも疎きわれにも

5462 林 美智子

手術否寝たきりとなるも生きること友が問いくる命ということ

同病の友の便りがうれしくて一病息災祈る文月

限りある人生想い齢になり友と八分の花の下ゆく

5703 中脇 久子

## 隠岐三首

星祭り子等の行列虫追いの声切れ切れに遠ざかり行く

吾が夫のふるさと隠岐の夜神楽は大蛇を退治て子等は眠りぬ

いとけなき子の持ちて来し祖先祭の幟たてたり海見ゆる墓

亡夫の第一五回忌にのぞんで

生き甲斐をみつけ一人居日々たのし<sup>みそひと</sup>三十一文字の言葉さがして 5791 石田 信枝

終活に献体の意志強ければ登録すませ余生明るし

いま一度だきしめたきや猫の「はな」息引き取りてわれのもと去る

ニャーニャーとふた声鳴きて逝く猫はわが腕の中天に召さるる

ときめいて友と語らふ電話口野球談義は若さの秘薬

【俳句】

桔梗の花目印の峠口

988 真柄 百合子

蛍飛び撤退と言ふ死語ありき

風音は塔より生れ苔<sup>こけ</sup>の花

小面の能面古りて著莪の花

風倒の榛の古木へ初夏の風

春

5095 山口 みどり

木の芽時アンバランスな恋してた

三限目校舎裏から猫の恋

夏

アロハシャツ後にする町番外地

冬

冬の陽を浴びている席譲られて

新年の胸悲しくて夜歩く

【川柳】

2403 照井 きぬ

大枚のこずかいゲット孫のハグ

人まねで「重着<sup>かさねぎ</sup>」してみる八十代

カタカナの氾濫ワタシは差別され

## 【コラム】

## プリンセチアの花言葉「思いやり」

5239 岡本 祐子

三年前の秋、銀座四丁目交差点で信号待ちをしておりました時、色鮮やかに咲き誇るお花が目にとまりました。ピンク色の濃淡もきれいですが、このお花の花言葉「思いやり」にある詩が頭に浮かんでまいりました。

その素晴らしい詩との出逢いは、第三十八回献体の会総会に出席した際に頂いた小冊子「論語から学ぶ・医療人の心得と姿勢(当時学長でいらつしゃった大山喬史先生による)」でありました。その中に、「行為の意味」という宮澤章二氏の詩が載っており、この詩の奥深さに改めて「心遣い」、「思いやり」について、未熟な私は考えさせられました。今の現代社会、そして、これから先の未来に向けても、〈こころ〉と〈思い〉の行為について、大切に大事に問い続けられるように感じております。

下段は、「論語から学ぶ・医療人の心得と姿勢」より抜粋したものです。



## 「行為の意味」(宮澤章二)

— あなたの〈こころ〉はどんな形ですか  
と ひとに聞かれても答えようがない

自分にも他人にも〈こころ〉は見えない

けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに〈こころ〉はだれにも見えない

けれど〈こころづかい〉は見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えない

けれど〈思いやり〉はだれにでも見える

それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる

— それは 人が人として生きることだ

★二〇一一年の東北震災のとき、この詩を目にし、「心遣い」や「思い遣り」は「あたたかい、やさしい 積極的な行為」という言葉に心打たれました。

## 《東京医科歯科大学献体の会会則》

(名称・事務所)

第一条 この会は、東京医科歯科大学献体の会（以下「本会」という。）と称する。

第二条 本会の事務所は、東京医科歯科大学医学部に置く。

(目的・事業)

第三条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、医学及び歯学の発展と人類の福祉に貢献するために、会員の遺体を無条件、無報酬で東京医科歯科大学に寄贈することを目的とする。

第四条 本会は前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 篤志献体に関する広報活動
- (2) 親睦会の開催
- (3) 講演会及び集会の開催
- (4) 会報の発行
- (5) 献体者の慰霊
- (6) その他本会の目的達成のため役員会において適当と認めた事項

(会員)

第五条 本会の会員は、第三条の目的に賛同し献体登録した者とする。ただし、この趣旨に反すること、又は本会の品位を著しく傷つける行為のあるときは、役員会において役員の上三分の二以上の議決により、会員の登録を取り消すこともある。

第六条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長 二名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 二名

2. 理事となる者は、役員会で選考し、総会の承認を得る。
3. 理事の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。
4. 会長及び副会長は、理事の互選とする。
5. 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
6. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代行する。
7. 理事は、役員会を構成し、会務を遂行する。
8. 監事は会計を監査するほか、役員会に出席して意見を述べることができる。

(会議)

第七条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

2. 総会は年一回開会し、会長がこれを招集し、その議長となる。

3. 総会においては、次の事項を審議する。

- (1) 会の運営及び事業に関する事項
- (2) 理事の承認
- (3) その他の事項

第八条 役員会は、会長が必要と認めるとき随時開催し、次の事項について審議する。

- (1) 会の運営及び事業計画
- (2) 収支予算に関する事項
- (3) 会の決算及び事業報告
- (4) その他会長が必要と認めた事項

2. 役員会の議事は、出席者の過半数をもって議決する。

(顧問及び相談役)

第九条 本会に、顧問及び相談役を若干名置くことができる。

2. 顧問及び相談役は、学識経験者、理事退任者の中から理事会に諮り会長が委嘱し、必要に応じ理事会に出席し意見を述べる。

(会計)

第十条 本会の経費は、補助金、寄付金等をもってこれに当てる。

2. 会の会計年度は、四月一日から翌年の三月三十一日までとする。  
(その他)

第十一条 本会則の改正は、総会の議を経て定める。

附 則

この会則は昭和五十九年四月二十一日から施行実施する。

この会則は昭和六十二年四月十八日一部改正実施する。

この会則は平成十四年四月一日より改正実施する。

## 《東京医科歯科大学献体の会役員》

会 長	八一〇	佐 藤 達 夫
副会長	二八四四	兵 頭 作 一
副会長	二二七二	星 野 君 枝
理 事	九二二	宮 内 美 栄 子
理 事	四五四六	橋 本 保 子
理 事	三八二〇	前 川 芳 一
理 事	四五六二	飯 田 静 夫
理 事	四七八五	磯 秀 夫



## 《東京医科歯科大学からのお知らせ》

◎住所変更等の連絡のお願い

住所、氏名、電話番号、ご家族の連絡先等が変更になった方はできるだけ早く献体事務室まで、お電話または文書等によりご連絡お願いいたします。

会員ご本人が遠方へ住所を移される場合には、献体登録を住所地の近くの大学にご紹介する場合がございます。大学からの距離が非常に遠い場合にはお引き取りできない場合がございます。また、お亡くなりになった後に他の大学にご紹介することは、非常に難しいので、住所を移される場合には献体事務室にご相談いただきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎献体手帳について

平成三十年年度「献体手帳」をご希望の方は次の要領でお申し込みください。平成一〇〇円となります。三冊以上の方は事務室へお問い合わせ下さい。

「献体手帳の申し込み方法」

お名前・会員番号をご明記の上、送料として九二円分の切手を同封の上、郵便にてお申し込み下さい。お申し込みは、お一人様一冊とさせていただきます。

なお、ご家族で会員の方が一緒に申し込まれる場合、二冊分の送料は一四〇円となります。三冊以上の方は事務室へお問い合わせ下さい。  
申込先

〒一一三―八五一九 東京都文京区湯島一―五―四五

東京医科歯科大学大学院 臨床解剖学分野内

「東京医科歯科大学献体の会」事務室

電話 ○三―五八〇三―五一四七

## 《会員のバツ家族へのお願い》

会員の方が亡くなられた時は、次の順序でご連絡と打ち合わせをお願い致します。

### 一、大学への電話連絡

◎平日 午前八時三〇分から午後五時まで

①東京医科歯科大学献体事務局（直通）〇三―五八〇三―五一四七

②東京医科歯科大学（代表）〇三―三八―三―六一―

平日の勤務時間内出来るだけの対応を致しておりますが、直接献体事務局に連絡をいただいた時、学内に出かけている場合がございます。その時には大学（代表）の電話交換手にその旨をお伝え下されば、こちらから再度ご連絡申し上げますので、ご遺族代表者の連絡先及び亡くなられた方の会員番号・氏名・死亡日時をお知らせ下さい。よろしくお願い申し上げます。

◎夜間・土曜・日曜・祝祭日・年末年始

東京医科歯科大学（代表）〇三―三八―三―六一―

夜間、土曜、日曜、祝祭日、年末年始などの場合は、大学の電話交換手にその旨お伝え下されば、担当者の携帯電話に連絡がつく状態になっております。その際、亡くなられた方の会員番号・氏名・死亡日時・連絡先・連絡者を必ずお知らせ下さい。担当者が学外におります場合には、東京医科歯科大学献体の会の会員であることをすぐには確認できませんので、ご連絡の前に会員であることを再度ご確認頂きますようお願い申し上げます。なお、迅速に対応できるような態勢をとっておりますが、諸事情（電波受信の状態が悪いところにいる場合など）により担当者からの連絡が遅れる場合がございます。大学から、担当者へは連絡がつくまで対応いたしておりますので、ご容赦願います。

### 二、大学担当者との打ち合わせ

ご遺族の代表者は次のことを担当者として打ち合わせて下さい。

- ①大学がご遺体をお迎えにあがる日時
- ②大学がご遺体をお迎えにあがる場所（住所・電話番号）
- ③お棺持参の要否

④ご遺族代表者の氏名、住所、電話番号

⑤「解剖に関する遺族の承諾書」等の書類は、担当者が後日お送り致しますので、ご記入、ご捺印をお願い致します。

⑥その他：お通夜、告別式をなさる場合にはその日時・場所をお知らせ下さい。なお、ご遺体の移送は大学がお引き受けし、寝台自動車でお迎えに上がります。

### 三、ご家族に用意していただく書類

○ご遺体移送のときに必要な書類

死亡診断書の写し 一通

・死亡診断書の写しをご用意下さい。ご遺体を寝台自動車で移送するとき必要になります。

○後日、郵送していただく書類

埋葬・火葬許可証 一通

・埋葬・火葬許可証は担当医師の死亡診断書を添え「死亡届」を市区町村へ提出すると交付されます。

・なお、火葬予定場所には「渋谷区代々幡斎場」とご記入下さい。

### ※注意事項

次のような場合、献体をお断りすることがありますので、ご了承下さい。

- ①事故で亡くなられた場合（交通事故死、水死、焼死、災害死など）
  - ②死亡後、時間が経過し発見が遅れた場合
  - ③病理解剖や法医解剖によりご遺体にメスが入った場合
  - ④旅行中など、大学から非常に遠い場所へ転居され、住所変更のご連絡がない場合
  - ⑤大学から非常に遠い場所へ転居され、住所変更のご連絡がないまま転居先で亡くなられた場合
  - ⑥死亡後、臓器提供をされた場合
- なお、重症感染症の場合も献体をお受けできないことがありますので、担当者にご相談ください。

## 《会報製作にあたって》

### ◎表紙の写真説明

御茶ノ水は、東京において、神田川沿いに位置する歴史のある街の一つです。その歴史を語る様々な様式の建築物があります。たくさん教育機関がありますし、有名な神社もあります。楽器屋やスポーツ用品店も点在しています。そして、電車の乗り換えの駅として重要な場所でもあります。

聖橋では、タイミングがよければ、JR中央総武線、JR中央線（快速）、東京メトロ丸の内線の三つの路線の「Ochanomizu Crossing」をみることが出来ます。表紙の写真は、聖橋から秋葉原方面に向かって撮影したものです。黄色、朱色、赤色へと電車カラーのグラデーションを楽しむことができます。現在、御茶ノ水駅ではバリアフリー設備の整備に向けて大規模な工事がなされています。完成予定は二〇一九年度だそうです。二〇二〇年度までには、駅前広場も整備されるとのことです。

時が経てば、すべてのものが変わりゆきます。御茶ノ水もまた然りです。変化を遂げた御茶ノ水が、歴史を守りつつ、今以上に便利で魅力あふれる街になることを願っています。

### ◎編集後記

はや一年の締めくくりの時節となりました。そして、皆様に献体の会報をお届け出来ず事嬉しく存じます。

前号より新しく編集委員とさせて頂きまだまだ若輩者でございますが、諸先輩方々のお志を引き継ぎ、皆々様に次号がお手元に届くのを待ち遠しく思っています。様々様々御存じます所存でございます。

表紙の写真は、タイ留学生による傑作です。「コブケンカー」（有り難う）でございます。第四十三号の会報は、合作となりました。

さて、昨今痛ましく悲しい出来事が多ございますが、今年の六月には上野動物園で待望のジャイアントパンダの赤ちゃんの誕生がございました。老若男女問わず、大変喜ばしいニュースだと存じます。

パンダ赤ちゃんの名前公募は過去最多でございました。

「シンシン」の母子愛に感動致し、愛くるしい姿に癒しさまでも感じさせてくれるパンダ赤ちゃんの様な「繋りと癒し」の会報をモットーに、大学・病院の先生方のお話し、お知らせすべき報告事項は勿論の事でございますが、何よりも会員皆々様の好き交流が成され広がる様な誌面にと編集委員と致しまして、応募作品並びに皆様からのお声としてご意見、ご感想をお寄せ頂きたくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご指導、ご協力の程賜りたく重ね重ね何卒宜しくお願い申し上げます。

献体の会役員でいらっしやいます理事前川氏よりご寄稿頂きましたエッセーに、何回かご生前の日野原先生ご紹介されました。

ホスピスにご人力を尽くされた先生とお伺い致しております。

今年は、東京医科歯科大学医学部附属病院に緩和ケア病棟が開棟されました。病院は異なりますが、ここに故日野原先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

改めまして、被災されました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げますとともにもすべての被災地の一日も早い復興を切に願います。

### 献体の会会報編集委員

四七八五 磯 秀夫  
五二三九 岡 本 祐子  
五四八二 広 田 順 子

(お)

連絡先	
発行	東京医科歯科大学献体の会
	〒一三三八五一九 東京都文京区湯島一―五―四五
電話	〇三(五八〇三)五―四七
FAX	〇三(五八〇三)〇―一六
印刷所	小宮山印刷工業株式会社
	〒一六二―〇八〇八 東京都新宿区天神町七八
電話	〇三―三二六〇―五二一―